

平成 26 年 4 月号 (Issue: 14-2)

やっと春を迎えました。ピンク色に咲き誇る桜を愛でながら、生命の息吹を感じ、あらためて新鮮な気持ちになります。春の風物詩「桜祭り」が3月20日から4月13日まで開催されました。今年は桜祭りの時期に桜が満開するという絶好のタイミングもとで遂行されました。3月20日、祭りの第一日目、日本大使館主催による“夏川りみコンサート”がケネディーセンターで開催されました。ニュースを聞きつけて、遠くは6時間も運転してファンが詰め掛けました。ミレニアムステージいっぱい“なだそうそう”の歌声が流れると、ファンは感極まり、ショーは最高潮に達しました。りみさんは、桜祭りの開会式でも一番バッターで出演し、なだそうそう、太鼓の音色で会場を一気に盛り上げました。今年の桜祭りは、沖縄色が強く塗られたイベントでした。



春といえば、沖縄会のメンバーにとっては「新春会」の季節です。昨年、当会は設立30周年を祝いました。大きな節目を祝うテーマは、若いうちなんちゅが沖縄の文化を継承していくことを願って、「The Future Generation」とつけられました。31年目を新しく踏み出した今年は、会員たちが主に演舞し、新しい門出を祝うことにしました。企画を練るうちに、プログラムは見る見るうちに多彩になり、満載になりました。三線グループの歌三線、八重山民謡独唱、琴と三線合奏、琉舞は2グループ、創作踊り（一人）、空手は2グループ、うちなーぐちコメディ、ハワイアンスチールギターとマンドリン演奏、バイオリンとキーボード演奏、エイサー2グループ、えとの馬の絵の披露、アルゼンチンニセーターツアー参加者の挨拶など、私たちの願いが叶ったかのような、元気な喜びにあふれる舞台になりました。多彩なプログラムになり、ますます複雑な準備が必要となった舞台を陰で支えてくださったのは、ステージ進行係りや音響係り、舞台の裏を走りまわっていた裏方さん、数分刻みのプログラムにそって、一生懸命出演者を舞台にリードしたパフォーマーズアシスタントの方々でした。皆さんの献身的な働きなしでは楽しいショーを見ることはできませんでした。ありがとうございました。今年はいま年、としびー（生年祝い、数え年で祝う）のお祝いの席も設けました。73歳になる方が6名、85歳が一人、Mrs. Miyoko Shima が100寿のお祝いでした。沖縄会からお祝いの品を差し上げ、会場いっぱいの人たちが祝福の拍手をおくって祝いことができましたことを大変嬉しくおもいます。2014年度の新春会も大勢の参加者で成功裡に終了いたしました。今回も、クワッチー（ご馳走）をいただきながら、舞台を鑑賞したり、友人との再会、新しい友とのめぐり合いに楽しいひとときをお過ごしになられたことでしょう。ここに、舞台出演をしてくださったみなさん、新春会企画委員会、前日の晩から当日まで、各ステーションで献身的にお手伝いしてくださったみなさんへ心から御礼申し上げます。そして、こころのこもったお料理を持参して参加してくださった会員の皆さんやゲストの皆さん、ご支援をありがとうございました。

沖縄会は今夏の沖縄県主催の「ウチナージュニアスタディー事業」（中学生／高校生対象、沖縄現地研修会）へ、ゆい Clifford さんを推薦いたしました。彼女が選ばれ、沖縄現地や世界から集まる青少年たちと、すばらしい経験ができますようにと祈っています。この会報が皆さんのお手元に届くころには、ますます気候もあたたくなり、多くの方が花壇や野菜づくりに精をだしていることでしょう。なが〜い日中を充分に謳歌してください。では、「秋のピクニック」でお会いしましょう。

President's Greeting: Itsuko Asato

The spring has finally arrived! I enjoyed viewing the beautiful pink cherry blossoms; I felt a breath of spring.

The Cherry Blossom Festival was held from March 20th through the 13th of April. This year, we had perfect timing to enjoy the festival and to see the peak of the cherry blossom blooms. And what a joy it was to see Rimi Natsukawa (Okinawan singer from Ishigaki Island) at the Kennedy Center. The Japanese Embassy sponsored the "Rimi Natsukawa" concert on the 20th of March, the very first day of the Cherry Blossom Festival. Many fans heard the good news of her concert; some of them drove over six hours to see the concert. When her hit song, "Nada So-So-" was sung, the audience was overwhelmed and the concert reached the climax. She was also the very first performer to sing at the Cherry Blossom Festival opening ceremony. Her singing and up tempo energetic Okinawan music played by the sanshin and taiko brought the venue in high festive mood. The Cherry Blossom Festival was painted strongly with Okinawan color this year.

For Okinawa Kai members, spring is "Shin Shun Kai" season. The Okinawa Kai celebrated its 30th Anniversary last year and we chose the theme "The Future Generation" to inspire the younger generation of Uchinanchu. To celebrate the 2014 "Year of the Horse," we showcased the many talented members of our Okinawa Kai. As we planned the program, it became clear there would be a lot of variety. From utasanshin by the sanshin group, utasanshin by solo, kutu play accompanied by sanshin, two Ryukyu dance groups, solo dance, two karate groups, Uchina-guchu comedy, Hawaiian steel guitar and mandolin play, violin and keyboard, eisa- by the two groups, children with a horse drawing and Niseta-tour participants greeting. There was a lot of variety indeed. It could not have been possible without the team work of the stage crew, performer assistants, and skilled sound system team! We could not enjoy the show without their dedicated work. Thank you to the stage crew and to the sound team.

We also celebrated Tushibi-. We had six members turning 73 this year (count age by Chinese zodiac), one member will be 85 and Mrs. Miyoko Shima celebrated her 100th birth year! Congratulations to all of them. The 2014 Shin Shun Kai was a great success. I hope you were able to attend and enjoy this great event and meet old friends, and make new friends. I want to thank all the performers, planning committee members, those who helped at various jobs and of course our members and guests who brought such delicious food.

Okinawa Kai submitted Yui Clifford as our nominee for the Uchina-Junior Study program this summer. We wish her well in the selection process and I hope she will be able visit Okinawa and also attend this rewarding program.

It is getting warmer every day. By the time you receive this newsletter, many of you may be enjoying gardening and getting ready for planting the summer vegetables. I wish all of you well and I look forward to seeing you at our annual fall picnic.



今年の新春会も華やかで、楽しかったですね。

出演者の皆さま、ボランティアの方々、いっぺーじょうとうやいびた〜ん。

2014 年 新春会









秋のピクニック (AUTUMN PICNIC)

秋には楽しいピクニックがあります。老若男女いっしょに、おいしいご飯を食べて、ゲームなどもして秋空のもとでおもいきり楽しみましょう。In autumn, we will have a big picnic. It is time again to have fun together, eating yummy food and playing games under the beautiful autumn sky. Do not miss it!

日時：2014 年 9 月 13 日（土曜日） 11 時～ 4 時 /September 13 (Saturday) 11:00 pm – 4:00 pm

場所：Bull Run Regional Park at 7700 Bull Run Drive Centreville, VA 20121

次号の「でいご新報」に詳しい情報をお届けします。More information will be in the next newsletter.

教育基金 (Education Fund)

沖縄会は下記の資金をメンバーに支給いたします。(Okinawa Kai offer two award programs.)

1. 学業奨学資金 (Academic Award)
2. 文化奨励資金 (Cultural Award)

これまでに、9 人のメンバーに学業奨学資金を支給。文化奨励資金に 2 人。文化奨励資金は初心者の方の空手、琉球舞踊、琉球音楽、日本語学校、その他のクラスやサークルへの参加奨励金（50 ドル）です。子供も対象となりますので、興味のある方は下記の Lisa Simmons さんに連絡するか www.okinawakai.org を御覧下さい。メンバーのための資金ですので、おおいにご利用下さい。詳しい内容は、インターネット www.okinawakai.org をご覧下さい

Nine members have been awarded the Academic Award, and two students for Cultural Award. If you or your child have/has started a class/training (Karate, Dance, Music, Japanese language school, or other classes related to Okinawan culture), please apply. If qualified, the applicant will receive \$50.00 of award. If you are interested in the award, please contact Lisa Simmons (703-646-5084); lisasimmons@gmail.com or link to the above Okinawakai WEB site. Members are encouraged to take advantage of this program. More detailed information is available at www.okinawakai.org :

沖縄会からの卒業祝い (Graduation Gift from Okinawa Kai)

ご卒業おめでとうございます。沖縄では、卒業生に卒業祝いをあげる習慣があります。沖縄会でもその習慣にちなんで卒業のお祝いとして各卒業生に贈っています。2013-2014 に高校もしくは、大学を卒業した方は、5 月 31 日までに下記の事項を第一書記の Atsuko Russell さんの Eメール(ookiihug@gmail.com) に送って下さい。

1. 氏名
2. 学校名
3. 住所
4. 卒業の年
5. 電話番号
6. 学位（大学）
7. 保護者氏名

Congratulations, graduates. In Okinawa we have a custom of giving graduation gift to a graduate. Following this tradition, we have a program to recognize achievements of the students in our Okinawa Kai. If you earned a high school diploma or an undergraduate degree in 2013 or 2014, please send the following information to Atsuko Russell's Email(ookiihug@gmail.com) by May 31.

1. Name
2. School
3. Address
4. Year of Graduation
5. Phone Number
6. Degree (College)
7. Parent's Name

2014年度アルゼンチン ニーセーターツアーレポート（1）

「2014年度アルゼンチン ニーセーターツアーに参加して」：ホーク花恋

この度、ワシントン DC 沖縄会のニュースレターに投稿する機会をいただき、大変光栄に思っております。ブエノスアイレスで開催されたニーセーターツアー2014に参加させていただいた花恋・ホークと申します。ピクニックや新年会で私を見かけた方もおられるかと思いますが、自己紹介をさせていただきます。現在、Shippensburg University の四年生でスペイン語を専攻しており、日英の読み書きもします。アメリカで生まれ、東京近郊で育ち、沖縄に二年住んだ後、2012年にまたアメリカに戻って来ました。沖縄では親戚の人々に恵まれ、今まで住んだ中で一番の場所でした。私がアメリカ人とナイチャーのハーフとわかって、「一度住んだらうちなんちゅ」と皆さんとても温かく接してくれました。嬉しいことに、どうやら私はうちなんちゅに見えるらしく、那覇のデパートリウボウでおばあに声をかけられたときは、「連れて帰って、息子の嫁にしたいねえ」と引っ張って行かれそうになりました。せっかくのご厚意ですが、丁重にお断りしました。



カレン ホーク

2013年夏、スペイン語専攻として、スペインに留学しました。実際にスペイン語圏の環境で暮らしたことは貴重な体験となり、地域の方々も温かく迎えてくれました。また、小さいころからヒスパニック系の友人に恵まれ、いつかラテンアメリカに行ってみたいと思っていました。昨年ニーセーターツアーについて知り、沖縄の文化、アルゼンチンの文化、そして二つの融合文化についてより深く学ぶ、またとない機会だと思いました。また、最近沖縄に住んだ体験も分かち合うことができるのではないかと思います。昨年応募した際、私の祖先では参加できないかと思いましたが、賀数さんが熱心にブエノスアイレスの県人会と交渉して下さり、晴れて参加できることとなりました。出発前の数か月は、三線の練習や沖縄の歴史と文化について復習をし、アルゼンチンについていろいろと調べたり、ブエノスアイレスの方言について学んだりしました。これらの事前準備は、ブエノスアイレスに着いた後、皆役立つこととなりました。

毎日、エイサー、琉球舞踊、アルゼンチンの民族舞踊やタンゴなど様々なワークショップを通じて文化体験を満喫しました。また、私のホストファザーは三線の先生で、三線のワークショップを担当しました。私も自分の三線を持参したのですが、他の奏者と演奏することができて、生涯のつながりとなりました。三線に情熱をかける友人達もでき、長老のようなお師匠さんにもお会いしたところ、沖縄文化をこよなく愛するナイチャーに会えてよかった、と身に余るお言葉をいただきました。私が芭蕉布を弾き始めると、お師匠さんは歌い出し、他にも数曲一緒に弾いたり、会話を楽しんだりしました。彼の嬉しそうに語る様子や目の輝きは一生忘れないでしょう。私は、自分の日本とアメリカのルーツ、そして沖縄とラテンの精神を決して忘れないと約束しました。すると、「いつでも歓迎するからね。また戻ってきてほしいと心から思っているよ。」と言って下さいました。

行事を楽しみながら、アルゼンチン、ペルー、ブラジル、ボリビアのうちなんちゅにも出会いました。沖縄のように皆さん温かい方ばかりで、私を快く受け入れてくれました。8日間の文化交流では真心に包まれ、まるで故郷にいるような気持ちでした。日本語、英語、スペイン語で話したり、通訳したりしたのですが、新しくできた友達は tú（君）の代わりに vos というんだよ、などと熱心にブエノスアイレスのスペイン語を教えてくださいました。ブエノスアイレスのお店でも「町のどの辺に住んでるの？」と店主に聞かれたので、ホストファミリーの地域を言うと、「ちょっと遠いわね」と心配そうに言いました。そんなに遠くないので大丈夫と言うと、笑顔で「よい一日を」と言ってくれました。

ニーセーターツアー2014は、いろいろと学ぶ貴重な機会と素晴らしい体験を与えてくれました。今回出会った素晴らしい方々とは連絡を取り合っていますが、「またすぐ戻ってきて、ラテンアメリカに家族ができたんだから」と皆さんから優しいお言葉をいただきました。いちゃりばちょーでー。最後の日は涙でお別れをしました。しかし、さよならは長続きしない、また会える日が来る、と皆笑顔になりました。大切な友人達よ、また会う日まで。

Niseta Tour 2014 in Buenos Aires, Argentina (1) by Karen Hoch

It is my pleasure to be given an opportunity to contribute to the Okinawa Kai Newsletter, as I had an opportunity to participate in Niseta Tour 2014 in Buenos Aires in January. I would like to briefly introduce myself. My name is Karen Hoch, and those of you who have attended the fall picnic and Shinnenkai may have seen me. I am a Spanish major at Shippensburg University, and I also speak, read and write English and Japanese. I was born in America, grew up in mainland Japan and lived in Okinawa for two years until 2012 when we moved back to the U.S.



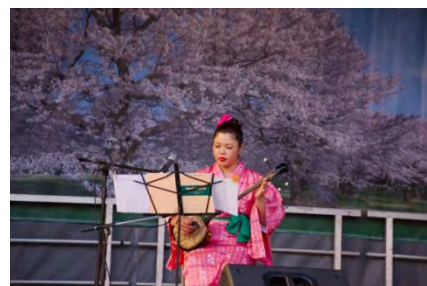
Karen Hoch

Okinawa was the best place that I had ever lived, and I was touched by the genuine kindness of the Okinawan people, even after they learned that my father is American and my mother is a naichaa. They would always tell us, “Ichido sundara uchinanchu.” (Once you live on the island, you are an islander.) To my delight, I also seem to look Okinawan to them; one time, an obaa even insisted to take me home with her as a bride to her second son! She was very sweet, but I politely declined.

As a Spanish major, I studied abroad in Spain in the summer of 2013. It was an eye opener to actually live in a Spanish-speaking environment, and I felt at home in a very accepting and welcoming community. As I was blessed with many Hispanic friends, I had always wanted to see Latin America. Then, I learned about the Niseta Tour last year. I felt it was a perfect opportunity for me to learn about Okinawan culture, Argentinian culture, and the blend of both. I was also able to share my recent experiences in Okinawa. When I applied last year, I was not sure if I would be accepted because of my ancestry. However, Mrs. Kakazu worked very hard corresponding with the Kenjinkai of Buenos Aires and eventually, I was accepted. In the months before my departure, I practiced sanshin, reviewed the history and culture of Okinawa as well as learned more about Argentina and the dialect of Buenos Aires. All of this came to fruition when I arrived there. I was immersed in a cultural experience through various workshops including eisa, ryukyu buyo, baile folklore and tango. My host father was a sanshin sensei, so he led the sanshin workshop. I took my own sanshin, and through playing together with other sanshin players, I have made connections to last a lifetime. I made new friends who are passionate about sanshin, and met a sanshin master who was delighted to see a naichaa in love with Okinawan culture. As I was playing “Bashoufu,” he began to sing. We played several songs together, and we enjoyed a conversation. I will never forget the delightful sparkle in his eyes as he spoke. I promised him that I would never forget my Japanese and American roots, and my uchinanchu and Latina spirits. He said, “You are always, always welcome here. It is my sincere hope to see your return.” As I enjoyed the activities, I met many uchinanchu from Argentina, Peru, Brazil and Bolivia. Just like in Okinawa, everyone was very warm and welcoming, and accepted me without reservation. All eight days of the cultural exchange, I was surrounded by genuine kindness, and I truly felt at home. I spoke and translated in Spanish, English and Japanese. My new friends were eager to teach me the Spanish of Buenos Aires, including the usage of “vos” instead of “tú” to mean “you.” Even at the stores in Buenos Aires, I would be asked, “So what part of Buenos Aires are you from?” When I replied with the neighborhood I was staying in, the shopkeeper worried that it was a bit of a distance, but I assured her that it was not a big trip at all. She smiled and wished me pleasant day!

The Niseta Tour 2014 was a wonderful learning opportunity, and a delightful experience. I have been keeping in touch with the wonderful people that I met, and they have all asked that I return soon, telling me that I now have family in Latin America. “Ichariba choodee.” With tears, we bid our farewells on the last day. And then we smiled, for we knew that our goodbyes would not last for long- we will see each other again. I hope to see you soon, my dear friends!

2014年「さくら祭り」：今年もたくさんのうちの芸能が舞台の上で披露されました。「すごい！」



Sakura Matsuri 2014

On April 12th, a huge crowd flocked to Pennsylvania Avenue just a few blocks from the White House to attend the 2014 Sakura Matsuri (Cherry Blossom Festival). The Sakura Matsuri stretched for five blocks and was alive with the excitement of Japanese traditional and contemporary music and dances, food, craft exhibits, cooking demonstration and martial arts.

We were especially proud to watch members of our Okinawa Kai share our culture with visitors to the largest Japanese festivals in America. As they have been doing for over 10 years at the Sakura Matsuri, the Okinawa Sanshin of Washington (OSW) performed lively Okinawan minyo songs for the large enthusiastic crowd. The OSW final number had the audience clapping & laughing as Emiko Eiland, Yoshiko Butler, Hisako Oller & Matsuko Stephens performed their comedy dance *Umi nu Chimbora*.

Squeezing our way through the crowd at the Martial Arts Stage, we watched the Northern Virginia Isshinryu Karate (Renshigo James Miller) perform Okinawan karate-do. The audience sat in awe of the power and art of *kata* (defensive forms), *kobudo* (weapons made from Okinawan farm tools) and *kumite* (partner sparring). Everyone then cheered loudly as boards were broken in the *tameshiwari* demonstration.

We then hurried to another stage several blocks away to see Tamagusuku Ryu dancers from Los Angeles and Hawaii join Shihan Momo Onno in presenting a wonderfully diverse program of elegant classical (*koten*) and lively folk (*minyo*) Okinawan dances, *Hana nu Kajimaya* by cute “Warabitcha” children, and uta-sanshin by Kyoko Dennard.

We also watched young students who just graduated from the Washington DC Japanese Language School in March performing *eisa* “*Mirukumunari*” choreographed by Kyoko, for the first time at Sakura Matsuri. It should be noted that those students performed *eisa* on the day of graduation ceremony at Washington DC Japanese Language School too.

Congratulations and *ippe niffee debiru* for working so hard to share our Okinawan culture with visitors from around the world.

2014年「桜まつり」

2014年4月12日の桜まつりは、ホワイトハウスからごく近くのパシフィカ・アベニューは、長蛇の大群衆で埋まり、日本の伝統的な、また近代音楽、踊り、食べ物、工芸品展示、料理デモンストレーション、武道ありと、盛り沢山のプログラムに大好評を博しました。

米国一人気があり大きな日本祭りにて、我が沖縄会メンバーの皆さんがウチナー文化を紹介し、広める代表者になって貢献して下さい頼もしい限りでした。また、ここ十数年余り連続参加して下さい「ワシントン沖縄三線会」メンバーによる明るい沖縄民謡の演奏に観衆はすっかり魅了されました。

のりに乗った最後の演奏で Emiko Eiland さん、Yoshiko Butler さん、Hisako Oller さん、Matsuko Stephens さんたちのユーモアに溢れた「うみのチンボーラー」のパフォーマンスに大勢の皆さんの手拍子を招き、明るい笑いも混じりお祭り気分はますます高まり大喝采を浴びました。

その直後に人ごみを掻き分けながら武道ステージへ。Northern Virginia 一心流空手の Renshigo James Miller さんが沖縄空手道の強烈でパワフルな「型」を紹介、沖縄独特の農具を使った「古武道」、「組み手」などを披露し観衆を感嘆させ、「ためし割り」の「わざ」に大声援が送られました。

再び足早で今度はサクラステージへ。ロスアンジェルスとハワイからわざわざ参加して下さい琉舞、玉城流の2グループは、玉城流翔節美智子乃会の、恩納桃枝師範との素晴らしい共演で、優雅で美しい琉球衣装を纏っての古典舞踊、楽しい気持ちにさせられる雑踊り、愛らしい子供たちの「わらびんちゃー」のパフォーマンスは微笑みを誘い、Kyoko Dennard さんの唄と三線も花を添えました。颯爽な装いで活気あるテンポのエイサー「みるくむなり」（Kyoko Dennard さんの振り付け／指導）を演じた子供たちはワシントンDC日本語補習校を3月に卒業した小学部のみなさんでした。卒業式の謝恩会で披露し、桜祭りにも初出演、おめでとうございます。すべて満喫させられた素晴らしいイベントでした。

国内外から桜まつりに訪れた人々に沖縄文化の紹介、披露し広め役をして下さった出演者の皆さんに感謝と賞賛の拍手を送りましょう。皆さん、本当にありがとうございました。ご苦労様でした。羽ばたけ、沖縄!

午年生まれの方々

下記の方々が午年（うまどし）生まれで、沖縄会からお祝いを差し上げました。皆様、ますますご健勝であられますように。

Congratulations to those who were born in the year of the Horse. Best wishes for the beginning of the new cycle. To carry on an Okinawan tradition, Okinawa Kai celebrated Tusubi-for 6 members at 73 birth-years(1942) and one member at 85 birth-years(1930), and one member at 100 birth-year(1914),

We gave special gifts to the people below.

73 years old (Chinese count):1. Eiko Fjeld (Fairfax, VA) 2. Midori Reynolds(Fredericksburg, VA)
3. Miyoko Strosser (Chantilly, VA) 4. Satsuki Swisher (Carlisle, PA) 5. Mitsuko Ruch (Woodbridge, VA)
6. Hisae Preddy (Manassas, VA)

85 years old (Chinese count): Mitsu Malloy (Reisterstown, MD)

100 years old (Chinese count): Miyoko Shima (Washington, DC)

後記：沖縄会からの記念の贈り物に対して、上記の午年生まれの方々から、御礼の言葉が沖縄会へ送られてきました。

エイサー同好会

今年の新春会で、7人の“みやらび”が拍手喝采（???）を浴びたエイサーグループがエイサー同好会としてスタートします。今年は、新春会だけでなく、日本大使館主催の“パスポート DC”で、五月三日にも、沖縄のエイサーを披露することになりました。（ちばりよ〜）来年の「新春会」や「さくら祭り」への出演を目標として、月に一度ぐらいのペースでいい汗をかきませんか。中学生以上の方（女性、男性問わず）なら、誰でも大歓迎です。一度は“ちむどんどんするエイサー”を踊ってみたい方、今がチャンスですよ。

連絡先：デナード今日子(samits448@yahoo.co.jp)

ベックフォードみち江(michie.beckford@gmail.com)

Eisa group who received lots of applause at this year's Shin Shun Kai will now start as a club. We will also perform on May 3rd at the "Passport DC" event organized by the Japan Embassy. Our goal is performing not only at Shin Shun Kai but also at the "Sakura Festival" next year. Let's work hard and sweat together. Anyone, female or male above middle school are welcome to join. Don't miss this opportunity if you want to dance heart beating Okinawan Eisa!

Contact: Kyoko Dennard (samits448@yahoo.co.jp)

Michie Beckford(michie.beckford@gmail.com)

ボリビア沖縄移民入植60周年記念の期日と連絡先の情報

1954年、米軍統治政府と琉球政府の主導により沖縄からボリビアへの第一・集団開拓移民の401人が到着してから今年で60周年を迎えます。原因不明の熱病や重なるリオ・グランデ川の氾濫などで多くの犠牲者をだし、大変な苦難を乗り越えてきたボリビアの沖縄農業移民ですが、苦勞のかいあって今では大農場経営で成功し、入植地も政府から正式に「オキナワ村」という行政区に指定されるようにまでなりました。

オキナワ・ボリビア協会では「入植60周年記念祭式典」や祝賀会を、毎年、お盆の時期に行われている「豊年祭」と共に慰霊祭、8月16日、17日に2日間に渡ってボリビアのサンタクルス市・近郊で開催を予定しております。参加されたい方、ご質問などある方は担当のアキコ・カカジまでご連絡ください。

電話: [\(301\) 656-4445](tel:3016564445) tinsagu@gmail.com

今年の行事予定

2014年6月29日(日) オキナワ縦貫駅伝大会

2014年7月27日(日) オキナワ大運動会

2014年8月15日(金) ゴルフ大会 サンタクルス市にて
ゲートボール大会 オキナワ移住地

2014年8月16日(土) 豊年祭 第1地域

2014年8月17日(日) 慰霊祭、式典、祝賀会

Some of you would still remember when our choodee (brothers and sisters) started to migrated to Bolivia cultivate farms and establish Okinawan community in the post WW2 Era. The systematic migration initiated by the US Military Government and Ryukyu Government started back in 1954 and it continued till 1964.

It has been almost 60 years since the first group of 401 Okinawan arrived in the jungle of Bolivia, and the total of 3298 Okinawans migrated in the 10 years period.

Okinawa Bolivia Association will be holding 60th Anniversary events along with their annual Harvest Festival on August 16 and 17. If you are interested in attending the event or have any questions, please contact Akko Cacaji. [\(301\)656-4445](tel:3016564445), or tinsagu@gmail.com

訃報(Obituary)

昨年11月にお亡くなりになりました、ベティータイラさんの義理の妹さんにあたる、**Mrs. Faye Taira**さんから、ベティーさんの追悼式への献花の代わりに、沖縄会の教育基金へ寄付して下さった方々や、沖縄会に対して、お礼のカードがおくられてきました。

Mrs. Faye Taira, Betty Taira's sister-in-law sent a Thank You card to Okinawa Kai and those who donated monetary to Okinawa Kai Education Fund, in lieu of flowers.

去った1月、バージニア州マクレーンにお住まいでありました、**Dr. Calvin Taira**さんがお亡くなりになりました。ご遺族の意思にそって、追悼式には献花の代わりになる寄付を、**Japanese Americans Veterans Association**へおくりました。奥様のFaye Tairaさんから、寄付に対する御礼のカードもとどきました。ご冥福をお祈り申し上げます。

Dr. Calvin Taira who lived in McLean, VA passed away on January 2014. Upon the request of his family members, the Washington D.C. Okinawa Kai has made a contribution to the Japanese Americans Veterans Association, in lieu of flowers. Thank you card was sent by his wife Faye Taira.

1月18日、バージニア州、スタフォードにお住まいでありました、すえこ Smithさんがお亡くなりになりました。沖縄会からお花をおくりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

Sueko Smith who lived in Stafford, VA passed away on January 18, 2014. Washington D.C. Okinawa Kai sent flowers to the family.

「でいご新報」はワシントンD.C.沖縄会の会報です。(Deigo Shinpo is the newsletter of the Okinawa Kai of Washington D.C.) 会報の住所(Address of newsletter) : 12716 Heatherford Pl. Fairfax, VA 22030

編集スタッフ：トリット登喜子、アサト逸子、アシスタント：トリット・レミ

印刷・郵送：ベックフォードみち江、奥座久美子

Staff: Tokiko Tritt & Itsuko Asato Assistant: Remi Tritt, Printing & Mailing: Michie Beckford & Kumiko Yoza